

世論調査

共同通信社の世論調査によると、夏の参院選に野党統一候補を擁立する動きに関し「支持政党なし」の無党派層で「評価する」「どちらかといえば評価する」の合計が52・3%に上った。「自民1強」に対抗する野党共闘への期待が一定水準に達していることを裏付けた形だ。

(1面参照)

野党共闘 無党派派52%評価

今夏参院選

政党支持層別に見る 評価すると答えた。安倍

と、野党の民進党支持層で75・7%、共産党支持層は74・7%が評価した。

内閣を「支持する」と地域別では、北海道

で75・7%、共産党支持層は74・7%が評価した。一方、自民党支持層でも46・7%、公明党支持層で44・5%が評価した。

最も高かった。4月24日の衆院北海道5区補欠選挙で無所属新人の野党統一候補が、与党候補と接戦を展開した経緯が影響したとみられる。

年代別は、高年層(60代以上)55・1%、中年層(40~50代)50・8%、若年層(20~30代)51・2%が評価し、いずれの年代でも過半数となった。

改憲 公明支持層59%反対

安倍政権での改正

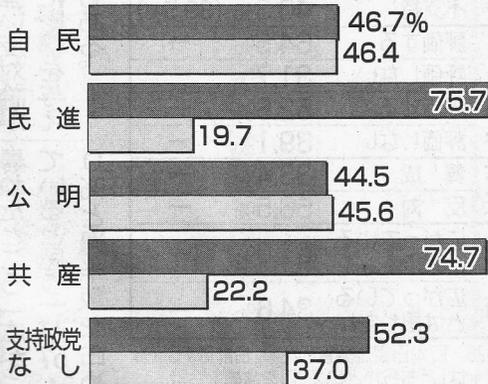
共同通信社の世論調査によると、安倍晋三首相の下での憲法改正の賛否に関し政党支持層別でみると、連立与党の公明党支持層で賛成は34・9%にとどまり、反対が59・2%に上った。「支持政党なし」の無党派層は68・0%、民進党支持層で91・8%が反対し、夏の参院選で改憲の争点

化を図る首相への警戒感が浮かび上がった。首相が改憲勢力として期待するおおさか維新の会支持層でも賛成は39・9%で、反対は55・0%。一方、自民党支持層は賛成が58・7%で、反対の31・0%を上回った。

共産党支持層は、反対90・2%、賛成9・8%。無党派層と民進党支持層の賛成はそれぞれ19・3%、5・9%だった。安倍内閣を支持する人は賛成56・4%、反対33・1%。支持しない人は賛成7・8%、反対が88・8%を占めた。

支持政党別でみた野党統一候補への評価

●…評価+どちらかといえば評価
●…評価しない+どちらかといえば評価しない



共産党支持層は、反対90・2%、賛成9・8%。無党派層と民進党支持層の賛成はそれぞれ19・3%、5・9%だった。安倍内閣を支持する人は賛成56・4%、反対33・1%。支持しない人は賛成7・8%、反対が88・8%を占めた。

男女別で、反対の回答は女性(59・3%)が、男性(53・4%)を上回った。年代別の改憲反対派の割合は、若年層(20~30代)57・4%、中年層(40~50代)56・4%、高年層(60代以上)55・8%と年齢が上がるにつれてわずかに減少した。